



根っこを育てる!

わが国における人口減少社会の到来により、地域産業の人手不足や小中高における児童・生徒数の減少などが阿蘇地域でも顕著になりつつあります。

日本社会に押し寄せる現況を冷静に見つめ、何ができるかを模索し確たる行動をすることが求められていると感じています。デザインセンターでは、この社会の変動に対応すべく「次代の人材育成」に注力してまいりました。そのひとつが熊本大学地方創生推進機構と連携した「あそ未来創造塾」です。

開設以来48名の修了生を輩出し、阿蘇地域の各所で、地域課題を解決するためのビジネスプランを構築し、その実現に向けて日々取り組んで頂いています。地熱開発、木工、事業承継、教育コーディネーター、デザイナー、福祉事業家など、地域が抱える課題に果敢に挑戦する姿は少なからず地域に影響を与えつつあると実感しています。

デザインセンター中期計画では、地域振興の基盤として「根っこを育てる」と明記してあります。今はしっかりと次代を見据えた根っこを張ること、縦横無尽のネットワークを強化し、一丸となって魅力ある地域づくりに取り組むことが求められていると思います。

この4年間、未来創造塾も認知度が向上し「塾生を集めるから塾生が集まる」という変化が生じています。塾が目指してきた「かっこいい大人づくり」の成果であり、今後は、中高生へと繋げて行くことが必要と考えます。

次代のキーワードでもある「豊かな少数社会」実現に向けて、ひとりひとりの生き方や幸福感がさらに重要視される時代に向け「根っこ」の拡充に努めて行きたいと思っています。



(公財)阿蘇地域振興デザインセンター
理事長 渡邊 誠次

「阿蘇 リレーション ～つながる阿蘇～」を目指して

このたび、公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンターの事務局長に就任いたしました田端文一と申します。

阿蘇の豊かな自然と文化が息づくこの地で、地域の皆さまとともに歩んでいけることを大変光栄に思います。阿蘇地域は、世界有数のカルデラ地形と千年の歴史を持つ草原、そして人々の暮らしが調和する特別な場所です。この貴重な環境を守り、そして活かしながら、阿蘇の価値を高め、持続可能な地域づくりを進めることが私たちデザインセンターの使命です。

今後とも、地域の皆さまをはじめ、阿蘇地域に属する市町村や関係機関の皆さまと連携を図り、阿蘇の未来をより魅力的なものにしていくため、全力を尽くしてまいります所存です。

何卒、ご指導ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



(公財)阿蘇地域振興デザインセンター
事務局長 田端 文一

異動挨拶



吉岡 晃宏 (小国町)

2年間の派遣期間、これまで知らなかった阿蘇地域の観光資源や地域資源に触れ、その資源を活用してイベントや観光PRをする中で、阿蘇地域の魅力を再認識できました。また、あそ未来創造塾で地域課題をビジネスで解決していく塾生や塾関係者と共に過ごした1年間は非常に楽しく、自分を成長させてもらい、今後に活かせる経験ができたと感じています。みなさん、2年間大変お世話になりました。

新任挨拶



田端 綾乃

この度、西原村から派遣されました田端彩乃と申します。観光や地域振興の分野は初めてで緊張していますが、TSMCの進出をはじめとする変化に対応し、阿蘇の魅力を発見・発信しながら、地域の活性化に少しでも貢献できるような一歩一歩頑張りたいと思います。どうぞよろしくお願い致します。

退任挨拶



事務局長代行
江藤 潤重

阿蘇はひとつである。

事務局長職6年、代行職3年、最盛の時代でした。熊本県、阿蘇山噴火による防災、その後の新型コロナウイルス感染症パンデミック、コロナ収息によるインバウンドの復活とオーバーツーリズム問題。一方、国内では人口減少による様々な影響の拡大など、この間、デザインセンターでは、少数社会の到来を見据えて、次代の阿蘇地域を担う人材育成に重きを置いてきました。「あそ未来創造塾」観光地域リーダー育成講座を開講。この4年間で合わせて100名近い人材と横断的な多様なネットワークが生まれています。今後、直面する少数社会においては、人々が繋がり、力と知恵を結集する「スクラム」の活動が望まれます。最後に、次世代には「阿蘇はひとつである。」という思いでスクラムを組み、魅力的な阿蘇地域の構築に向けて動くことを期待しています。

(公財)阿蘇地域振興デザインセンター情報誌

aso lulu 【アソルル】

lulu(ルル)=素晴らしい魅力という意味。

since 2012



vol. 25

2025

FREE

阿蘇あが牛ハンバーゲ王国



公益財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター
〒869-2612
熊本県阿蘇市一の宮町宮地4607番地1
TEL 0967-22-4801 FAX 0967-22-4802
阿蘇デザインセンター
<http://www.asodc.or.jp>

■発行／公益財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター ■発行日／2025年3月28日



ホームページ



Instagram



Facebook



YouTube



What is 阿蘇のあか牛

草原にたずむあか牛は、阿蘇の美しい景色と人々の生活、食文化にとって欠かせない存在です。阿蘇の大自然で伸び伸びと育った阿蘇のあか牛は、赤みが多く、余分な脂肪がないことから、ヘルシーな肉牛として注目を集め、人気を博しています。また、赤みにはうまみ成分が豊富に含まれていて、牛肉本来の味と香りが楽しめる、さまざまな料理に適しているのも特徴です。



阿蘇あか牛 ハンバーグ王国を 巡ろう!!

阿蘇あか牛ハンバーグマップ
阿蘇地域45店舗掲載!!

阿蘇のあか牛を使った阿蘇エリアの人気ハンバーグを掲載した「阿蘇あか牛ハンバーグマップ」。令和5年の第一弾から新たな店舗も追加して45店舗にグレードアップしリニューアルしました。ミンチの大きさや具材、こね方や形、焼き方、さらには肉を引き立てるソースや付け合わせ、100人集まれば100種類のハンバーグがあるように、誰もが知る料理でありながら、無限の愛情を持つ人気メニュー。あか牛のポテンシャルを存分に味わえる多種多様な絶品ハンバーグはどれもおすすめです。ここでは、MAPの中からPICKUPしたお店を紹介しします。是非、マップを手に阿蘇のあか牛ハンバーグ王国を巡ってください!

阿蘇市

食堂 すびいかん

玉ねぎドレッシングのさっぱりハンバーグ

観光客から地元の人にも人気の町の洋食屋さん。玉ねぎとリンゴのオリジナルドレッシングでいただくハンバーグはさっぱりとした味わいでごはんが止まらない最高のおかず!

【電】0967-32-3668 【休】不定休
【住】阿蘇市中央216-1
【営】昼/11:00~15:00 夜/17:30~20:00
【例】に付けてもおいしい万葉ドレッシング!



あか牛ハンバーグ定食 (1390円)
【CMB・CMB・CMB・CMB・CMB】1,500円

西原村

畑のキッチン orto

お野菜たちに囲まれたトロトロハンバーグ

自家菜園で育てたお野菜を、ふんだんに使った料理が自慢のお店。玉ねぎをたっぷり練りこんだトロトロのハンバーグと一緒に、色とりどりの季節のお野菜たちの甘みや食感が味わえる、畑のハンバーグコース料理。

【電】096-279-1077 【休】毎週水曜日/第3・第5火曜日
【住】西原村小高3090-2 【営】11:00~14:30 (L.O.14:00) ※夜は予約制



あか牛のハンバーグ (コース料理) (1390円)
【CMB・CMB・CMB・CMB・CMB】2,400円

グールド加藤

シェフの想いが詰まった最高の「おもてなし」ハンバーグ

田舎特有の「おもてなし」を、料理を通してお客様に「満腹・満足」を! ふわふわ食感と上品なデミグラスソースからシェフの愛と愛が伝わる絶品ハンバーグ! 1度食べたらきっと一生忘れられない思い出になるはず!



あか牛ハンバーグランチセット (1390円)
【CMB・CMB・CMB・CMB・CMB】2,000円
【電】0967-62-1020
【住】高森町高森2195-10
【営】11:30~15:00 (L.O.14:30)
夜/18:00~23:00 (L.O.22:30)
※材料がなくなり次第終了となるため来店の際はお問い合わせを。

高森町

産山村

焼きアモンドカフェ
DABERIBA (ダベリバ)
「ふわっふわ」の産山産あか牛100%

【電】0967-25-3650 【住】産山村田原581-2
【営】10:00~17:00 【休】毎週火曜日
産山村の草原で育ったあか牛を、愛情込めてふわっふわのレアに焼き上げた絶品ハンバーグ。村のトマトを使ったケチャップや野菜など、産山村の魅力が味わえる一皿です。



ライダーと牛定食 (1390円・CMB・CMB・CMB・CMB・CMB) 1,950円

南阿蘇村

山の洋食屋 フレール

ミシュランガイド掲載店の本格ハンバーグ

【電】0967-67-0888 【住】南阿蘇村久石2839-3
【営】11:00~15:00 【休】毎週水曜日
※材料がなくなり次第終了

フランス料理店で修行したシェフが、厳選した赤牛のすね肉を使って作る赤牛ハンバーグ。赤酒と醤油をベースとしたオリジナル和風ソースは肉本来のさっぱりとした味わいと相性抜群でつけ替えて置くことさえ忘れさせてしまう程の、感動の味!



あか牛ハンバーグ (1390円)
【CMB・CMB・CMB・CMB・CMB】2,480円

小国町

おぐに天然食 ほこすぎ

選べる三種のソースが肉感たっぷりハンバーグとの相性抜群

【電】0967-46-2961 【住】小国町宮原1492
【休】毎週火曜日 【営】11:00~15:00
粗挽き肉がギュッと詰まった、肉汁染み出す食べ応え抜群のハンバーグには、地元の素材を使ったソースなど3種類から選べます。ランチだけでなく、早朝からテラス席で手作りのお料理やパン、味噌等を味わえる週末限定のモーニング(4月~10月)も人気のお店。



阿蘇あか牛ハンバーグセット (1390円)
【CMB・CMB・CMB・CMB・CMB】1,980円

南小国町

ぐじゅう・わいた展望公園 花カフェ

生玉ねぎと粗挽きあか牛の肉感が楽しいハンバーグ。

【電】0880-2789-8144 【休】毎週月曜日
【住】南小国町赤馬場4275
【営】11:00~17:00

元ホテル料理人が作る表面をカリッと焼き上げた香ばしいハンバーグ。地元の醤油を数種類ブレンドした自慢のジャンピニンソースで! 阿蘇の山々を望む最高の展望ロケーションでいただけます。



赤牛ハンバーグ 2,000円
【CMB・CMB・CMB・CMB・CMB】



FAMILYツアー

開催日:令和6年7月28日(日)～31日(水) [3泊4日]

場所:阿蘇地域

阿蘇地域振興デザインセンターは、台湾からの親子旅行客誘致に向け、本格的な取り組みを開催しています。昨年度の観光庁事業で得られた「女子旅」の知見を基に、台湾人の嗜好に合わせた親子向け観光スポットや体験コンテンツを抽出し、台湾の専門家による現地調査を実施。調査結果を踏まえ、昨年度作成したミニツアーモデルコースを親子旅行向けに改訂しました。地域関係者は「阿蘇の豊かな自然や文化は、台湾の親子連れにとって魅力的な観光資源となる。今回の取り組みを成功させ、阿蘇地域の活性化に繋げたい」と語っています。



2024 台湾国際観光博覧会 秋季(TITE)

開催日:令和6年8月16日(金)～19日(月)

場所:台北貿易センター

阿蘇地域の新たな観光ルート開拓に向け、台湾の旅行博「TITE」で阿蘇のミニツアー専門ブースが大きな注目を集めました。阿蘇地域振興デザインセンター、環境省国立公園阿蘇九重事務所、道の駅阿蘇が共同で出展し、台湾の旅行会社2社が阿蘇のミニツアーを直接販売する初の試みとなりました。ブースには21万人が来場し、阿蘇のミニツアーは300組の消費者と商談が行われました。即売実績は2商品にとどまったものの、「阿蘇の協力旅行社を育てることが重要」とし、今後の展開に期待を寄せています。今回の出展は、阿蘇地域の新たな観光ルート開拓に向けた大きな一歩となりました。今後も台湾からの観光客誘致に向け、積極的に取り組んでいます。

阿蘇地域の魅力を台湾へ!
Facebookページと最新情報を発信中URL: <https://www.facebook.com/@asodctw>

阿蘇地域振興デザインセンターでは、台湾の皆様に向けて、阿蘇地域の観光情報を発信するFacebookページと冊子を制作しました。雄大な阿蘇の大自然、温泉、グルメ、イベントなど、現地の最新情報を繁体字で発信。美しい写真や動画も満載で、阿蘇の魅力を存分に感じていただけます。台湾からの観光客の皆様により快適で充実した阿蘇旅行を楽しんでいただくよう、役立つ情報を随時更新しています。

阿蘇地域でデジタルバッジ
キャンペーンを実施

開催日:令和6年10月5日(土)～12月8日(日)

場所:阿蘇地域

阿蘇地域振興デザインセンターは、阿蘇地域の活性化と誘客促進を目的に、2024年10月5日から12月8日にかけて、登山地図GPSアプリ「YAMAP」を活用したデジタルバッジキャンペーンを実施しました。阿蘇地域の山々を巡るスタンブラー形式で、8つの対象スポットから2つのスタンプを取得すると、阿蘇の風景をデザインしたオリジナルの手ぬいぐいがプレゼントされ、北里塾三郎博士をモチーフにしたコンプリートバッジをもらえる企画です。キャンペーンには、目標の2倍を超える4960人が参加し、阿蘇地域の観光スポットや飲食店に多くの人が訪れました。来年度以降も、阿蘇地域の魅力を発信するキャンペーンを実施し、さらなる誘客促進を目指します。

令和6年度
阿蘇地域移住定住
担当者研修会

開催日:令和6年9月9日(月)13:30～

場所:熊本県阿蘇地域振興局1階 中会議室

[講師] 園学院大学観光まちづくり学部 嵩和雄 准教授
[テーマ] 「移住定住における選ばれる地域とは?」
～選ばれるために、今やるべきこと!～

令和6年度阿蘇地域移住定住担当者研修会が9月9日、阿蘇地域振興局で開催されました。阿蘇地域の市町村担当者が集まり、移住定住促進に向けた意見交換や専門家による講義が行われました。園学院大学観光まちづくり学部の嵩和雄准教授が「移住定住における選ばれる地域とは?」～選ばれるために、今やるべきこと!～と題して講演を行いました。嵩准教授は、自身の小国町での移住経験や勤務経験を踏まえ、移住者の定義や多様な地方創生との関連性、移住希望者のタイプなどを解説。その上で、空き家問題への取り組み、コミュニティの重要性、観光と移住の連携など、課題解決に向けた具体的な提案が行われました。

移住定住

くまもと阿蘇地域
移住セミナー
～企業型移住のススメ～開催日:令和6年
6月21日(金)・22日(土)

場所:東京交通会館8階 ふるさと回帰支援センター

「阿蘇でカッコいい大人になれる起業型移住のススメ」と題しセミナーを実施。昨年度までデザインセンターでアソ未来創造塾を担当していた奥松安幸氏によるアソ未来創造塾の取り組み、アソ未来創造塾の修了生2名(山本美奈子氏、三辻忍氏)による起業するまでの道のりや移住した理由や、移住してよかったこと、そうでなかったこと、アソ未来創造塾で得た学び、などを話されました。参加者からのアンケートでは、「タイプの違う講師2人の話しがとても楽しく聞けた。」「移住や移住先の起業の現実と厳しさを知ることができた。」などの感想が上りました。尚、セミナーを通じて3名の方が移住されました。

自然の中で働く、暮らす。ASO仕事×移住フェア

開催日:令和7年3月2日(日)13:00～

場所:交流文化創造拠点 HiRaKu

阿蘇地域の各自治体から移住定住担当者が集まり、研修会と移住定住フェアin福岡が開催されました。当日は約100名の来場者があり、阿蘇の魅力に触れ、盛況のうちに幕を閉じました。フェアでは、阿蘇地域の各担当者がそれぞれの地域の特色や魅力を紹介。また、来場者へのアンケートを実施し、回答者には阿蘇の新酒の振る舞いと新米のつかみ取りという特別なプレゼントを用意。阿蘇の豊かな自然が育んだ味覚は、来場者に大変好評でした。



あそ未来創造塾

ASO MIRAI SOUZOU JYUKU

「あそ未来創造塾」では、地域企業、金融機関、阿蘇DC、熊本大学熊本創生推進機構、(産学金官)が早い段階から地域課題を共有し、知恵を出し合い協力体制を構築することで人材育成機能と地域課題解決の実践機能を持ち合わせたプラットフォームを構築いたします。若者たちが思い描く企画やビジネスを、専門家とともにブラッシュアップして実現を目指すためのカリキュラムです。また、阿蘇地域の各地から集まった同世代の人々が交流し情報や意見交換することで、これからの阿蘇地域の活性やコミュニティが繋がる場としても期待されます。



4th Team Activity Report

令和6年度も 志熱い4期生14名が受講

「あそ未来創造塾」第4期が令和6年7月からスタートし、阿蘇地域の各市町村から14名の方々が受講しました。専門家の講義やディスカッションなど、カリキュラムが進んでいく中で地域課題について考え、情報共有や意見交換など積極的に取り組む姿が見られ最終日にはそれぞれが夢の実現に向けた素晴らしいビジネスプランが完成しました。



第4期生 塾生紹介

あそ未来創造塾を受講して

産山村



一般社団法人 うぐや未来ラガ
平野 敦子さん

花炭

～自然が届ける、癒しの快適空気～

今回参加して振り返って思うのは、大人になってもこんなに大切な仲間に出会えるんだ、ということ。開講式では初めての方も多く、正直少し人見知り、緊張しましたが、今では本当にこの出会いに感謝しています。講座の中で他地域の事例や声を聞き、自分が考えるビジネスと地域の共存、自分の将来像についてたくさん考え悩んだときも、仲間の考えやアドバイス、一緒に悩んでくれる時間がとても良い刺激になりました。この繋がりを作ってくださった皆さま、本当にありがとうございました。



高森町



有限会社 大阿蘇造園
後藤 保範さん

終点駅からはじまる旅

私は塾の講義中の「ポジティブな意見交換」という方針が大好きです。東京から高森にUターン帰省し、家業の造園業(植木生産業)に就き約10年。桜スポット「サクラミチ」やブルーベリー観光農園「アソブル」など夢を持ち事業に挑戦してきました。しかし、理解を得られない事もあり、孤独な思いをする事も多々ありました。4期生、講師、スタッフ、後援団体の方々のご縁は大きな財産です。塾での活動は修了を迎え、寂しさもありますが「終点は新しい旅のはじまり」と思い、これからも皆さんと沢山の「挑戦」を続けていきたいです!



阿蘇市



ウェルビー インストラクター
村上 靖代さん

カラダとココロと地域を創る コト・あそ・ビー プロジェクト

企業課題と地域課題の間に双方が良くなっていくというビジネスチャンスがあること、そして、日本各地に未来創造塾があり、地方創生を想う同志の方々があること、またその成功例も多数あることを知るととても良い機会になりました。現状に物足りなさを感じ、自分自身の持つ思考回路を一旦取り払い常にalways look AHEADであること。情熱と知恵と行動で、好きなこと×社会にいいことを見つけ出すという部分がすごく心に残っています。何よりこの8ヶ月共に過ごした4期生の仲間といつまでも付き合っていく存在になったと思っているので、これからがとても楽しみです!



OBの活躍

1期生

甲斐 弘人さん

阿蘇の草原維持と耕作放棄地の活用という課題に取り組むため、昨年8月に熊本県産の有機認証オーツ麦(燕麦)を使用した食品製造・販売会社を南阿蘇村で創業しました。第一弾のプロダクトとして誕生したのが、国内流通わずか1%未満と希少な国産有機オートミールです。日本大使館の総料理長を歴任された藤江隆シェフにもご推薦いただいております。ご販系からスイーツまで、幅広いアレンジが可能なオートミールをぜひお楽しみください!



2期生

井上 彰子さん

南小国町中原エリアの湯田地区に古くからある湯田温泉。源泉には時々、SNSを見た野天ファンが訪ねて来られます。その源泉を引いて20年ほど建てられたのが介護予防拠点施設の「湯夢プラザ」。今後は健康をテーマに人が繋がるコミュニティカフェを設置し、様々な講座や、マルシェを定期開催し、みんなが楽しく遊び合い笑顔になれる健康な居場所づくりを目指します。



新規事業や商品開発、地域おこしなど、あなたの「夢」をサポートします!

あそ未来創造塾 第5期 塾生募集!!

- 対象** 起業や新分野開拓を目指す意欲のある若者(概ね45歳以下の方)
・中小企業の経営者、後継者、幹部候補、個人事業主・商店街のリーダー、地域づくりに携わる方 など
- 期間** 2025年7月～2026年3月(予定)
- プログラム** 全14回程度(オリエンテーション・講義・ビジネスプランプレゼンなど)
講義内容:多分野の専門家から事業構想に必要なスキルを学ぶ座学 他(予定)
他専門家との個別ヒアリング(事業構想の実現に向けた相談会・グループミーティング 他)(予定)
- 定員** 12名程度 / 全プログラムに参加可能な方
- 申込先** 公益財団法人 阿蘇地域振興デザインセンター TEL.0967-22-4801 / FAX.0967-22-4802

参加
無料

詳しくは、あそ未来創造塾
特設サイトをご覧ください
あそ未来創造塾

ツーリズムEXPOジャパン2024

開催日:令和6年9月26日(木)～29日(日)
場 所:東京ビッグサイト

阿蘇くじゅう観光圏は、東京ビッグサイトで開催された「ツーリズムEXPOジャパン2024」に出展し、阿蘇くじゅう地域の観光情報をPRしました。ブースでは、阿蘇の雄大な草原や、くじゅう連山の四季折々の風景を写真や映像で紹介。また、両地域の温泉やグルメ、体験型観光などの情報を盛り込んだパンフレットを配布し、来場者の関心を引きました。イベント期間中は、多くの来場者が阿蘇くじゅう観光圏のブースを訪れ、熱心に情報を収集していました。



阿蘇世界農業遺産フットパス「手野コース」阿蘇神社境内復旧記念

開催日:令和6年10月26日(土)
場 所:阿蘇市手野地区

阿蘇の世界農業遺産資源の活用を目的に2023年度からスタートし、3回目となった「阿蘇世界農業遺産フットパスイベント」。今回は阿蘇神社境内復旧を記念して開催しました。当日は、朝から雨が降っており天候が心配されましたが、フットパス開始とともに雨も上がり、多くの参加者で賑わいました。また現地ガイドとして手野名水会により、手野地区の歴史や文化をご案内いただき、参加者も普段なかなか知ることができない阿蘇の情報を聞いて感心されていました。参加者には、阿蘇の特産品をプレゼントし、イベントの最後に阿蘇の特産品が当たる抽選会を行い大盛況のイベントとなりました。

参加者の声

- ・次回は家族で参加したい。
- ・近くに住んでいても知らないことが多いことに気づかされました。機会があればまた参加します。
- ・天気がよくなったならなおよかったが、充分楽しめた。
- ・地域の歴史やどんな生活をしているのか分かり楽しかった。
- ・ガイドさんがよかった。



阿蘇へ行くフェア

開催日:令和6年5月17日(金)
場 所:交流文化創造施設 HIRAKU
(福岡市中央区天神2丁目8-227)

新緑がまぶしい季節、福岡市天神の交流文化創造施設HIRAKUにて、「阿蘇へ行くフェア」が開催されました。今回のフェアのテーマは「涼」。阿蘇の雄大な自然が育む、ひんやりとした清涼感を福岡の皆様にお届けするイベントとなりました。会場では、阿蘇の観光案内はもちろん、神秘的な湧水や水源、雄大な高原など、「涼」を感じられる様々なスポットを映像で紹介。また、移住に関するアンケート調査も行い、阿蘇の魅力が多角的に発信する貴重な機会となりました。



地域づくりセミナーレポート

令和6年度 第1回地域づくりセミナー

開催日:令和6年8月7日(水) 14:30～
場 所:阿蘇草原保全活動センター 草原学習館

【講師】鳥取大学地域学部地域創造コース 簡井 一伸 教授
【テーマ】「学びが地域を創る!」～地域を育てる学力と関係人口～

講師に、鳥取大学地域学部の簡井一伸教授を迎え、「学びが地域を創る!」～地域を育てる学力と関係人口～」と題した講演が行われました。簡井教授は、農村地理・地域経済論を専門とし、過疎問題や農山村と都市の地域間関係の研究、農山村での「継業」の提唱など、地域活性化に尽力されています。単に知識を詰め込むのではなく、地域課題を発見し、解決策を導き出すための思考力や判断力を養うことが重要だと述べられました。また、関係人口(移住者だけでなく、観光客やボランティアなど、様々な形で地域に関わる人々)を増やすことで、地域の活性化や課題解決につながると説明されていました。講演後には、参加者との質疑応答も行われ、活発な意見交換がなされました。



令和6年度 第2回地域づくりセミナー

開催日:令和7年1月24日(金) 14:30～
場 所:阿蘇草原保全活動センター 草原学習館

【講師】公益財団法人阿蘇地域振興デザインセンター事務局 長候補 田端 文一 氏
【テーマ】「阿蘇地域の振興と阿蘇DCの取り組み」

講師に、事務局長候補の田端文一氏を迎え、「阿蘇地域の振興と阿蘇DCの取り組み」と題した講演が行われました。田端氏は、行政職員として豊富な経験を持つ方で、事務局長候補として阿蘇地域の現状や課題について語られました。観光客増加に伴う課題、人口減少、草原の維持、世界文化遺産登録への取り組みなどについて講演いただき、地域振興への意欲を示される講演となりました。



令和6年度 第3回地域づくりセミナー

開催日:令和7年2月12日(水) 14:30～
場 所:ホテルサンクラウン大阿蘇

【講師】大正大学 地域創生学部 公共政策学科 柏木 千春 教授
【テーマ】「観光地域づくりと女性の活躍」

「令和6年度第3回地域づくりセミナー」が開催され、観光地域づくりにおける女性の活躍をテーマに活発な議論が交わされました。セミナーでは、大正大学の柏木千春教授によるオープニングトークの後、産山村観光協会の平野敦子氏、高森観光推進機構の染田麻弓子氏、豊の国千年ロマン観光圏の神元秋子氏の3名をゲストに迎え、トークセッションが行われました。女性ならではの視点や発想を活かした地域活性化の事例が紹介され、参加者は熱心に耳を傾けていました。また、参加者からは「女性の視点の重要性を再認識した」「地域づくりへの意識が高まった」といった声が聞かれました。阿蘇地域では、今回のセミナーを機に、女性の活躍推進に向けた取り組みが加速することが期待されます。



熊本県立高森高等学校とオンライン海外研修

開催日:令和7年3月27日(木) 場所:熊本県立高森高等学校

次世代が地域に目を向け、将来的に地域づくりを担うきっかけを目的に高森高等学校でオンライン海外研修を実施しました。この研修は、普通科2年生34名を対象に、オンラインでミャンマーの学生と繋がり、異文化理解や多様性への関心を深めました。研修では、ミャンマーの現状や世界第一位の寄付国であること、両国でのボランティアの違いなどを意見交換が行われました。本研修を通じて、生徒たちの国際的な視野を広げ、主体的な学びを進めることができました。



令和6年度 阿蘇地域元気再生支援事業

① 阿蘇市

長寿ヶ丘公苑つつじ上部 除草等整備

事業実施主体／長寿ヶ丘管理組合
実施場所／阿蘇市野内
期日／令和6年11月16日(土)～令和6年12月23日(月)
植栽区域の一部(850㎡、園路80m)の伐採除草整備。



③ 小国町

多様な観光ニーズを 促進・整備する事業

事業実施主体／一般財団法人 学びやの里
実施場所／木魂館
期日／令和7年1月14日(火)～令和7年2月28日(金)

より多くの観光客を呼び込み、多様なニーズに答えられるようにWifi設備の充実を図り、合宿等の宿泊者だけでなく、キャンプ場利用のファミリー層やワーケーション、オンライン会議、コワーキングといった様々なシーンに対応できる施設を作りました。



⑦ 西原村

西原村夏まつり2024

事業実施主体／西原村商工会青年部
実施場所／西原村総合運動公園
期日／令和6年8月17日(土)

①地域事業者による出店ブース及びキッチンカーによる出店 ②お化け屋敷 ③スガーズ(バドミントン)大会の実施 ④モルックなどのスポーツ体験の実施 ⑤地元住民・団体を主としたステージイベント ⑥打ち上げ花火を実施しました ⑦SNSや村広報、ポスターを活用した広報PR



八王社例大祭鬼神どんまつり

事業実施主体／宮山八王社まつり実行委員会
実施場所／西原村大字宮山
期日／令和6年11月23日(土)

祭りの神事として神楽の奉納が行われました。「鬼神殿」では、鬼のような面をかぶった演者が子供たちを(なまはげ的に)怖がらせた後、神主と問答を繰り広げ「鬼神殿」の怒りが収まった後に本殿に帰る祭りです。また、屋台などを見物客に無料で振る舞いました。



⑧ 山都町

山都町服掛松キャンプ場 スライダー・滑り台解体事業

事業実施主体／山都町
実施場所／山都町長崎地区
期日／令和6年6月18日(火)
～令和6年11月30日(土)

山都町服掛松キャンプ場に設置されているスライダー・滑り台1基について、解体するものです。



② 南小国町

黒川温泉「湯あかり」 再構築事業

事業実施主体／黒川温泉観光協会
実施場所／黒川温泉一帯
期日／令和6年11月～令和7年3月末

1.地域住民も含んだ湯あかりの作成 2.フォスボットの設置 3.プレイベント開催 4.黒川温泉公式Instagramにてフォトテスト開催しました。



④ 産山村

うぶやまピクニック事業

事業実施主体／産山村観光協会
実施場所／産山村
期日／令和6年7月13日(土)～令和7年3月末

夏秋の行楽シーズンに合わせて村内テイクアウト提供店舗や屋外飲食が可能なランチスポットの情報を発信し、本村へファミリー層、観光客を誘客しました。



交流人口拡大・移住定住促進 マルシェ事業

事業実施主体／一般社団法人 うぶやま未来ラボ
実施場所／UBUYAMA PLACE
期日／令和6年10月5日(土)

日時:10月5日(土)、場所:UBUYAMA PLACE、名称:うぶやま暮らしのマルシェ。村内外の店舗、農家、一般住民など約20団体に農産品、加工品、飲食物、雑貨、衣類等を店販・販売する場、体験やワークショップを提供しました。また、音楽バンドも招聘し、ライブも同場所にて開催しました。



⑥ 南阿蘇村

南阿蘇村村制施行20周年 記念事業

事業実施主体／南阿蘇村
実施場所／南阿蘇中学校体育館
期日／令和7年1月19日(日)

この節目の年を村民の皆様とお祝いするとともに、これまでの南阿蘇村の歩みを振り返り、さらなる飛躍に向けて歩みだすための記念事業を開催しました。



阿蘇地域元気再生支援事業とは...

阿蘇地域振興デザインセンターでは、その地域独自の資源を活かした取り組みや、伝統行事再生に向けた試み、地域に根差したイベントの実施、熊本地震からの復興に向けた活動、新型コロナウイルス感染症対策など、魅力ある地域づくりと地域の活性化を図ることを目的とした事業に対して助成を行っています。

きよら郷 秋の合同コンサート

事業実施主体／きよらの郷秋の合同コンサート
実行委員長
実施場所／南小国町役場きよらホール
期日／令和6年10月5日(土)

東京九段下楽芸団(約20名)による演奏のほか、吹奏楽コンクールで九州大会に学校として初めて出場した南小国中学校との合同演奏も開催しました。



サイン整備事業

事業実施主体／一般社団法人 高森観光推進機構
実施場所／高森町
期日／令和6年11月15日(金)
～令和7年3月末

観光客の利便性向上を目的に、高森・草部地区にある2カ所の観光案内看板の整備を行いました。

